



# 市の土地利用、都市計画 マスタープランは

竹村 仁司 議員

早急に対応が必要な課題を  
抱えている

産業建設部長

除に関する事業の中で、そうした住民の声が届くのか。

**産業建設部長** 地区計画の見直しに当たり、各公

共地区施設の整備水準を検討しなければならぬ。その中で、公園も施設のひとつとして位置づけられている。防災上の観点からも適切な配置や設置にかかわる基準などを検討しなければならぬ。

が、設置の詳細などについては、関係住民の意見を尊重しながら県と協議して決定したい。

**産業建設部長** 地区計画の見直しに当たり、各公共地区施設の整備水準を検討しなければならぬ。その中で、公園も施設のひとつとして位置づけられている。防災上の観点からも適切な配置や設置にかかわる基準などを検討しなければならぬ。

公園の設置については、開発許可基準及び区画整理事業の基準から必要な施設となっている。

名鉄沿線の西側に公園が欲しいとの声がある。今回の暫定用途地域の解

**産業建設部長** 市街化区域への編入は、県が決定する。県の都市計画区域マスタープランとの整合性が図られ、計画的な市街地整備が行われることが確実な区域に限定される。

市の都市計画道路の整備

が、現実にできていないものは。

**産業建設部長** 市内の都市計画道路は約32キロあり、そのうち未整備の道路は、約14キロになる。

主な都市計画道路の未整備路線は、佐屋地域内に津島佐屋線の約3・9キロ、内佐屋元寺線の約2・7キロ、佐織地域内にある諏訪勝幡線の1・6キロなどとなっている。

指定用途地域どおりの

土地利用が図られていない状況の改善をどのように行っていくのか。特に

**産業建設部長** 第1種低層住居専用地域の5割を占める田畑をどうしていくのか。

**産業建設部長** 第1種低層住居専用地域については、都市的土地利用が計画的に進まないことなどから、地区計画の見直しなどにより公共地区施設の充実を図り、低層住居系の土地利用を図っていく。

く。

平成30年度当初予算の中にある遡高地区暫定用途地域整備検討事業の進め方と課題は。

**産業建設部長** 遡高地区の第1種低層住居専用地域は、地区計画の変更を見据えて事業を進めていくとともに、公共施設の整備充実に向けて地区の関係者と合意形成を図り、計画を策定していくことが重要な課題であると認識している。

平成30年度当初予算の中にある遡高地区暫定用途地域整備検討事業の進め方と課題は。



▲「愛西市都市計画マスタープラン（報告書）」冊子の表紙より